

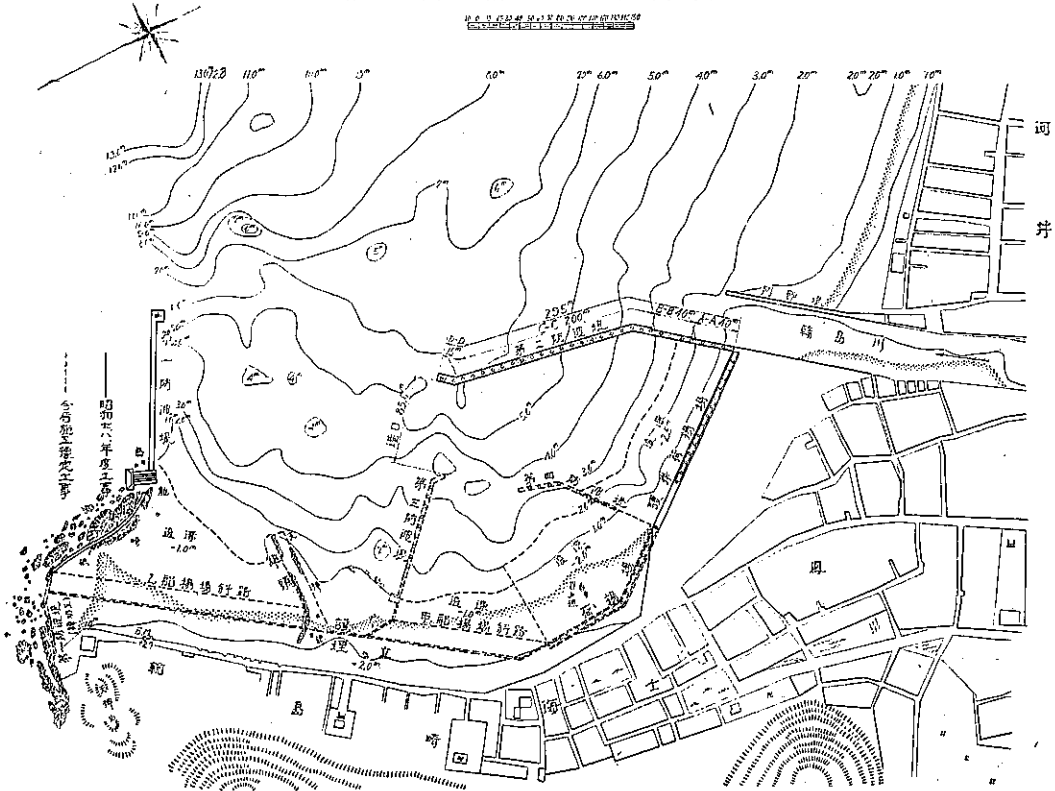
甲板張解	船 25 ton 積	1 艘	1 600.00	鈴木嶺喜太郎	木造船
函	船 15 ton 起重機臺船	1 艘	2 150.00	鈴木嶺喜太郎	木造船
6. 工事執行者	石川県				
7. 計畫設計者	土木技師 佐藤東次郎				
8. 工事監督者	運路技師 直山 實				
9. 施工方法	縣直營				
10. 起工年月	昭和 7 年度工事	昭和 7 年 10 月			
	昭和 8 年度工事	昭和 8 年 6 月			
11. 竣工年月	昭和 7 年度工事	昭和 8 年 3 月			
	昭和 8 年度工事	昭和 9 年 3 月			

輪島港修築工事概要

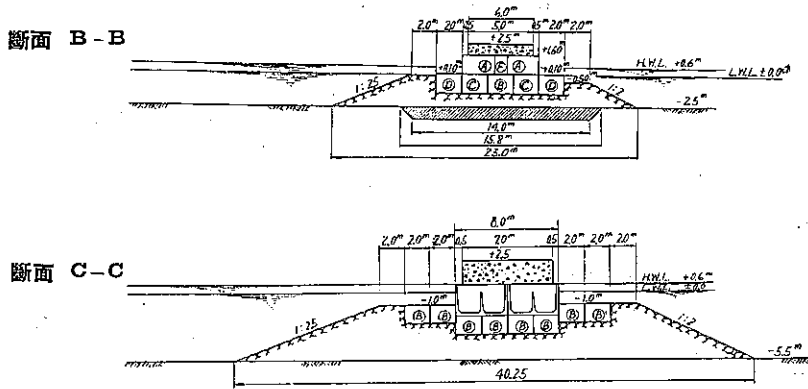
(本文に就ては杉山宗次郎君の勞を煩はしたり、茲に感謝の意を表す。)

1. 箇所並に工事種類
石川県鳳至郡輪島町 防波堤築設工事
2. 計畫概要並に工事狀況
(A) 本計畫は輪島町字輪島崎地先第 1 防波堤と相對し 船溜を形成するものにして輪島川河口埋立地先端より

第 1 圖 輪島港平面圖



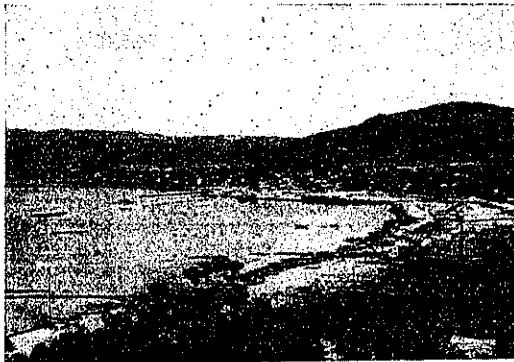
第 2 圖 輪島港第 2 防波堤構造圖



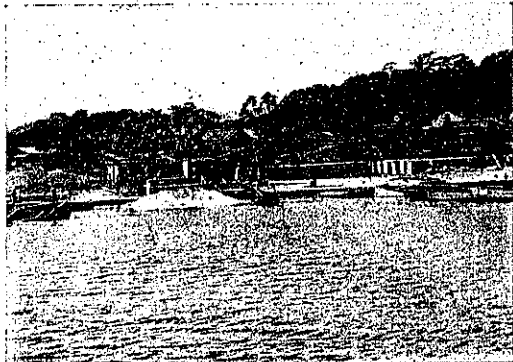
東北に 100 m を出し略々北方に曲折する總延長 295 m 中間幅員 7 m の混成堤にして天端高は干潮面上 2.5 m なり。

(B) 河口埋立地先端より東北に走る方塊積構造延長 80 m 及び幅員 7 m の函塊構造部延長 70 m, 合計 150 m は天端場所詰コンクリートまで完成せり。

第 3 圖



第 4 圖



而して残部に對しては既にその部分の捨石投入, 方塊並に函塊製作を終り目下残延長 145 m に對し着々堤體築設中に屬す。

(C) 工程 (昭和 8 年 12 月末日現在)

工 種	設計量	施行済	未施行	備 考
床 掘	2 276.50 m ³	2 276.50 m ³		
捨 石	19 335.32 "	14 862.40 "	4 472.82 m ³	
捨 石 均	5 821.45 m ²	363.00 m ²	5 458.45 m ²	
方 塊 下 均	3 728.00 "	2 027.10 "	1 700.90 "	
場 所 詰	2 796.85 m ³	822.00 m ³	1 974.85 m ³	
方 塊	830.90 "	752.90 "	78.00 "	
方 塊 搬 据 付	943 個	395 個	548 個	

大型函塊	6個	函體 中埋	2個 —	4個 —
大型函塊 運搬据付	6個		—	—
小型函塊	80個	函體 中埋	80個 784.56 m ³	—
小型函塊 運搬据付	80個		24個	56個
繫船柱	28個	體 立込	28個 8個	— 20個
竿燈	1個		—	1個

3. 工事費 (昭和8年12月末日現在)

名 稱	豫算高	昭和7年度 支出高	昭和8年度 支出高	未施行高
輪島築港費	240 000.00	57 166.32	136 392.61	46 441.07
工 事 費	224 500.00	53 713.64	130 219.24	40 567.12
{ 器具機械費	21 398.85	2 398.85	16 000.00	3 000.00
{ 防波堤費	198 814.94	50 814.94	111 125.83	36 874.17
{ 工事雜費	4 286.85	499.85	3 093.41	692.95
{ 監督諸費	15 500.00	3 452.68	6 173.37	5 873.95
{ 監督費	13 173.44	2 773.44	5 455.35	4 944.65
{ 測量調査費	597.44	97.44	156.15	343.85
{ 監督雜費	1 729.12	581.80	561.87	585.45

4. 主要材料

品 名	數量	單 價	製造, 工作, 販賣 及び納入者名	備 考
セメント	54 081袋	1.28 1.31 1.30 4.90	東京市麴町區丸ノ内 七尾セメント株式會社	23 664....單價 1.28 9 690.... " 1.31 20 217.... " 1.30 150樽... " 4.90
砂	5 507.26 m ³	.70	直 營 製 産	
砂 利	11 382.12 "	1.80	"	
捨 石	19 335.32 "	2.20	"	
鐵 筋	134.271噸	107.02	金 澤 市 中 石 引 町 常 常 吉	

5. 主要器具機械

品 目	性 能	數量	價格	製造, 工作, 販賣 及び納入者名	備 考
浮起重機船	13 ton 缸 蒸氣機關	1隻	8 097.00	石 川 縣 小 木 町 丸 九 造 船 所	
"	5 ton 缸 40.HP. フォード・エンジン	5臺	14 370.00	エンヂン輪島町北島正太郎 ウキンチ大阪市 岩田商會 船 體 新湊町佐賀造船所	
發 動 機 船 (金城丸)	40. HP. セミディーゼル機關	1隻	9 000.00		
" (萬壽丸)	20. HP. セミディーゼル機關	1隻	5 000.00		

〃 (風來丸)	3.5 HP. セミディーゼル機関	1隻	500.00		
コンクリート 混合機	7 切練 7.5 HP 電動機付	2臺	2600.00		
〃	5 切練 7.5 HP 石油發動機付	1臺	900.00		
甲板張解船		9隻	1800.00	富山縣新湊町	山賀造船所
解船		4隻	735.00	石川縣鳳至郡大屋村	瀧野淺右衛門外
ハンド・ウキンチ	3 ton 扛 1 5 " 6 10 " 3	10臺	1100.00		
傳馬船		5隻	200.00	直營製造	
チェン・ブロック	10 ton 扛 3 5 " 2	5臺	910.00		27 ton 扛のものは 10 ton 捲ハンドウキンチ 2臺据付
手動式ゴライア ス・クレン	37 ton 扛 3 18 " 1	2臺	795.00	直營製造	18 ton 扛のものは 10 ton 捲チェンブロック 2臺取付
6. 工事執行者	石川縣				
7. 計畫設計者	土木技師 佐藤東次郎				
8. 工事監督者	土木技手 西村 義人				
9. 施行方法	縣直營 (昭和7年度 2箇年繼續) 昭和8年度				
10. 起工年月日	昭和7年10月16日				
11. 竣工年月日	昭和9年3月31日				

唐津港修築工事概要

(本文に就ては會員工學士谷堅君の勞を煩はしたり、茲に感謝の意を表す。)

1. 箇所名並に工事種類

箇所：唐津港は佐賀縣北端玄界灘に沿へる唐津港の西南隅の一角にして北緯 33 度 28 分、東經 129 度 58 分の位置に當り朝鮮、滿洲國及び上海方面とは極めて近き距離にあり。

工事種類：港灣修築工事

2. 計畫概要、工事狀況

本港は明治 32 年 7 月開港場として指定せられ爾來逐年入港船舶の數及び貨物噸數の増加を見、且つ後方に所謂唐津炭田を控ゆると共に後方地域の交通關係の圓滑なると滿洲國の建設とを契機とし將來益を發展せんとする機運を示し來れるに従來港灣施設として見るべきもの殆ど缺如せるに鑑み昭和 7 年度より昭和 10 年度に至る 4 箇年繼續事業として、所謂匡救事業の名の許に國庫補助を受け修築工事を企劃せられ目下工事中なり。その計畫概要を述べれば次の如し。

岸壁及び物揚場 (第 3 圖、第 4 圖参照)

現在本港東南隅の船入場入口正面東側に在來護岸と略平行して有效水路幅員 35m を存し、水深 1.0 m の 6 割法